

森林環境教育・職場体験学習及び インターンシップの活動の報告

上川中部森林管理署 吉田泰輔
本田秀樹

取組の背景

小学校の森林環境教育と中学校における職場体験学習、高校のインターンシップ等、森林や樹木への関心がある児童・生徒を対象に、より一層森林管理署の仕事や森林の管理について理解を深めてもらい、学んでいただくことを目的に実施しています。

・神楽小学校

同校からの依頼を受け、3年生2クラス68名を対象に7月1日(月)、「総合的な学習の時間(森林環境教育)」を実施しました。当日は、当署からふれあい担当職員等4名で対応しました。

事前に質問・疑問を把握していたので、小学校近くにある外国樹種見本林(旭川市神楽363林班)の中を散策しながら、見本林の歴史や管理している苦労など、それぞれ回答し併せて森林の持つ機能や役割などを説明しました。

子供たちにとっては、身近な地域にある見本林にどんな役割があるか、動植物や昆虫が生息しているかなど、疑問に思ったこと、興味のあることを確かめる貴重な体験となったようです。最後に「北の森漫画」を児童に配布し、喜んでいただきました。



・神楽中学校

同校からの依頼を受け、2年生4名を対象に10月17日(木)、「総合的な学習の時間(職場体験学習)」を①体験を通じて、望ましい職業観とともに、将来の夢や目標を持つ、②神楽・神楽岡地域の良さを实感し、地域を愛する心を育むことを目的に実施しました。当日は、当署からふれあい担当職員等3名で対応しました。

当署の管轄地域や業務内容の概要、森林の有する水源涵養機能等の多面的機能について説明した後、外国樹種見本林を生徒と一緒に散策しました。林内では、生徒たちとの質疑応答や、明治期から植栽されてきた外国樹種やそのほか林内の植生について説明しました。木漏れ日の中で、心地よさや、カツラの甘い香りを感じたり、林内に生息するエゾリスとの突然の遭遇に驚いたり、五感を通して有意義な風致体験ができました。

・旭川農業高校

同校からの依頼を受け、森林科学科2年生3名を対象に10月9日(水)～11日(金)の3日間、「インターンシップ(職場体験実習)」を、地域の企業や産業の現場を生徒自らが体験し、働くことの大切さや厳しさを学ぶことを目的に実施しました。当日は、現場ごとに担当職員(総勢10名)が対応しました。

森林管理署の業務全般(森林整備、製品生産、林道工事、治山工事、森林調査)を体験したほか、「表土戻し」地拵の現地検討会にも参加し、学校の授業では経験できない貴重な時間となったようです。



樹高を測定する生徒



全天球カメラで森林の蓄積を調査



治山工事施工箇所を見学

まとめ・今後の展開

今後については、子供たちに充実した森林環境教育が実施できるよう、自己研鑽に努め、植物や森林への興味・関心が持続するような話題の提供や教材作りを行っていきます。

また、地元の教育関係者や上川総合振興局が取り組んでいる「木育」活動との連携やJR旭川駅からも近く、三浦綾子文学記念館も林内にあり、多くの観光客や一般市民が訪れる外国樹種見本林の活用をさらに図ることができるよう今後も見本林の整備、充実に積極的に取り組んでいきます。